Honeywell

Q7999A ControLinks™ ユニバーサル配線サブベース

製品データ

特徴

- **R7999A、B ControLinks™コントローラー用 クイックマウント配線サブベース**
- **コントローラーの据付け前に制御システムの配線が可能**
- **パネル取付け式**
- **NEMA 1規格の筐体**

アプリケーション

Q7999AはR7999 ControLinks™コントローラー用のユニバーサル配線サブベースです。配線サブベースには、現場での配線用端子があり、この端子はQ7999の接点と電気的に接続されます。

Q7999Aサブベースはパネル取付け型です。

目次

アプリケーション 1
特徴 1
仕様 2
注文情報 2
据付け 3
配線 3
性能検査 3

® U.S. Registered Trademark
Copyright © 2000 Honeywell Inc. • All Rights Reserved

65-0240-1

ECC-MN-BCB-2013

仕様

重量：10オンス（0.28kg）.

寸法：図1を参照してください。

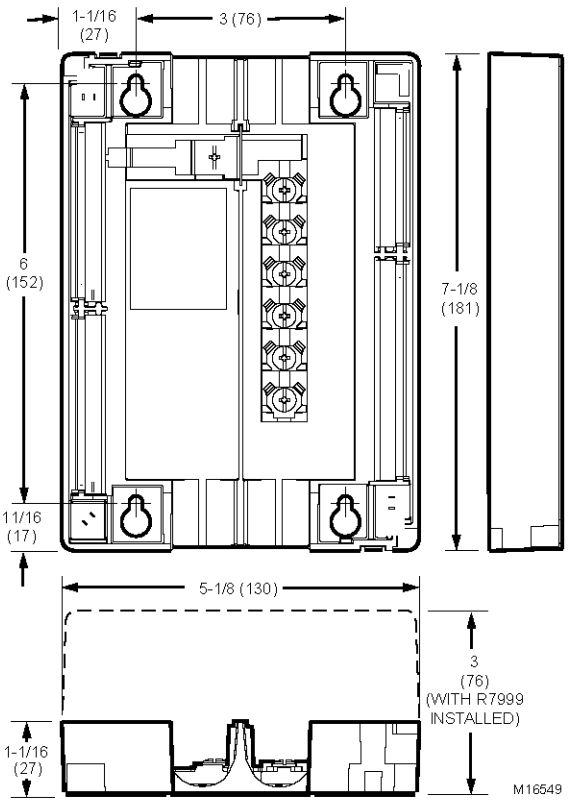

図1：Q7999AのControLinks™ユニバーサル配線サブベースの概略寸法（単位：インチ（mm））

筐体：NEMA 1

認可：
Underwriters Laboratories Inc.（UL）
カナダ規格協会（CSA）：審査中
欧州共同体（CE）：審査中
工場相互（FM）：審査中

注文情報

取替え用の製品、更新用の製品についてTRADELINE®卸店または代理店から購入されるときは、TRADELINE®のカタログまたは価格表を参照のうえ注文品番号をご記入ください。

詳細情報やご質問、または当社製品およびサービスに関するご意見は、下記までお問い合わせください。

ハネウェルジャパン株式会社
本社 ACS 環境燃焼制御
代表番号： 03-6730-7208
FAX 番号： 03-6730-7230

大阪オフィス ACS 環境燃焼制御
代表番号： 06-6265-6061
FAX 番号： 06-6265-6070

据付け

この製品を据え付けるときは

1. この説明書を必ずご確認ください。説明書に反する行動は、製品の損傷や危険な事態を引き起こす場合があります。
2. 説明書と製品に示す定格を調べ、当製品がユーザーのアプリケーションに適切であるかどうかをご確認ください。
3. 訓練を受けた経験のある整備技術者が据付けを行ってください。
4. 据付けを始める前に電源の接続を切り、感電と機器損傷を防止します。接続を2箇所以上で切ることを推奨します。
5. 全ての配線は、その地域の電気規定、法令、条例を遵守することが必要です。
6. 線間電圧配線の基準は全て米国NECのクラス1とします。
7. 据付けが完了したら、説明書のとおりに製品が動作するかをご確認ください。

⚠警告

感電の危険
重傷または死亡が発生することがあります。
据付けを始める前に電源の接続を切り、感電および機器損傷を防止します。接続はできる限り2箇所以上で切ってください。

機器メーカーの説明書がある場合はそれらに従ってください。利用できない場合は下記のとおり進めてください。

取付け

注：据付け寸法については図1を参照してください。

1. R7999 ControLinks™コントローラーの定格周囲温度にある位置にサブベースを置きます。R7999の適切な指示書を参照しながら、現場での電気接続に際し、整備、据付け、接続のための適切なスペースを確保してください。
2. サブベースをパネルの上に置き、4つの取付け穴の位置に印をつけます。
3. 取付けネジを挿入し、ネジ4本（別途購入）を使用してしっかりと締め付けてください。

配線

1. サブベースの正しい配線については機器メーカーの配線情報とR7999の仕様を参照してください。
2. 必要に応じて、過負荷保護および接続を切る手段を備えるようにしてください。本線からの電源の接続を切り、据付けを始める前に接続を切って感電と機器損傷を防止します。接続はできる限り2箇所以上で切ってください。
3. 全ての配線は、その地域の電気規定、法令、条例を遵守するようにしてください。米国ではNECクラス（線間電圧）の配線を使用してください。
4. 推奨される電気接地の実践：

a. R7999 ControLinks™コントローラーはそれぞれ1個のアース接地端子を有するものとし、かかる接地端子は金属製の制御盤に接地するものとします。電線はできる限り短くしてください。各接地電線は保護ヒューズの定格に等しい障害電流（漏電）が伝導する機能を有するものとします。14番の銅心線が適しています。

b. アースの接地により、サブベースと機器の制御盤の間が接続されます。アースの接地は充分な電流を伝導させ、万一内部短絡が発生した場合にはヒューズを飛ばすかブレーカーを落とす機能があることが必要です。R7999 ControLinks™コントローラーは機器の枠への低インピーダンス接地接続を必要とし、アース接地への低インピーダンス接続が必要になります。最大の表面積を持つ最小の長さの導線で接続することが必要です。鉛線よりも幅広のストラップかブラケットが有効です。接地経路に沿った機械的にきつく締めてあるジョイントは、非導電コーティングがなく腐食保護されたあわせ面を有している必要があります。この場合の接地経路とは、留め具でまとめられたパイプやコンジットのネジ山または表面などです。

5. 負荷が端子の定格を超えていないことを確認します。R7999 ControLinks™コントローラーにあるラベルまたはR7999の仕様書にある定格を参照してください。
6. 電源回路をチェックします。電圧と周波数の公差は、R7999 ControLinks™コントローラーの公差に釣り合うようにしてください。R7999 ControLinks™コントローラー/Q7999サブベースを、重負荷のスイッチを入り切りするときに発生するような線間電圧の変動を受ける電源回路に接続しないでください。R7999には別個の電源が必要になることがあります。必要とされる接続を切る手段および過負荷保護を追加してください。
7. R7999 ControLinks™コントローラーをサブベースに据え付ける前に、R7999 ControLinks™コントローラーの仕様書に従って配線回路を全てチェックし、性能検査を完了してください。
8. R7999 ControLinks™コントローラーをサブベースに据え付けます。
9. パネルへの電源を復旧してください。

重要
サブベースの配線が端子ブロックを超えて飛び出していないことを確認してください。飛び出している場合、R7999 ControLinks™コントローラーの適切な取付けが妨害されることがあります。サブベースの後ろに押し込み、R7999またはQ7999の端子や接点を妨害しないようにしてください。

性能検査

据付けの後、システムの完全な性能検査を実行してください。機器メーカーから提供された情報とR7999 ControLinks™コントローラーの説明書に従ってください。

安全上の注意
安全上の注意は必ず守ってください。取扱説明書等、内容をよく理解してください。燃焼機器、燃焼安全装置に安全認定を持った方の取扱いをお願いいたします。
使用の制限
本製品は、一般燃焼機器での使用を想定し、設計、製造しております。
燃焼を伴う機器の安全性につきましては装置全体、機器全体燃焼システムとしての安全性を考慮の上、ご使用ください。
警告
本製品は取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または、重傷を負い、多大な物的損害を被る等、危険な状態が発生することが予想されます。
本機器の取扱いにつきましては、十分な安全性を考慮いただき、フェールセーフ設計、冗長設計を実施してください。
品名・型番・仕様等の記載内容については予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。:

Honeywell

ハネウェルジャパン株式会社
本社　ACS 環境燃焼制御
〒105-0022
東京都港区海岸 1-61-1
竹芝サウスタワー 21F
代表番号： 03-6730-7208
FAX 番号： 03-6730-7230

大阪オフィス　ACS　環境燃焼制御
〒541-0052
大阪市中央区安土町 1-6-14
朝日生命辰野ビル 6F
代表番号： 06-6265-6061
FAX 番号： 06-6265-6070